| 発言順位 | 8番 |
|---|---|

# 一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

平成 29 年 2 月 21 日

三島市議会議長　松・田　吉　嗣　様

三島市議会議員　21番　野村　諒子

| 質問事項１ | 高齢者の外出機会を増やす為の路線バスの活用について |
|---|---|

具体的内容

団塊の世代が70歳を迎え、運転免許証返納者も増えてくることが予想されています。これまでは自分の運転で自由に出かけられたが、運転免許証を返納することで自由な足を奪われ、自宅に引きこもる高齢者が増えてくることは、健康を維持する上でも懸念される課題です。

三島市では、外出機会を少しでも増やす為に運転免許証の自主返納者に対し、バス・タクシー・伊豆箱根鉄道乗車券等に利用できる１万円分の利用助成券を配布しています。しかし、１万円の利用助成券配付だけでは、高齢者の外出機会を増やす取り組みとしては不十分であると感じます。

そこで、今後も地域の中で暮らしていく為に、足となる路線バスの利用を促す取り組みが不可欠と考え、以下について質問します。

１　運転免許証自主返納者の推移と現状の課題、今後の見通しはどうか。
２　高齢者の外出機会を増やすための課題は何か。
３　高齢者シルバー定期券の活用を促すための取り組みはできないか。
４　三島駅北部路線バスの終着駅を本町行き又は本町循環にする取り組みはできないか。

| 質問事項２ | 地域の居場所づくりを支援する取り組みについて |
|---|---|

具体的内容

高齢化が進み、自宅に引きこもりがちな高齢者の生活を維持するための取り組みが行われてきましたが、要支援１・２の人への福祉サービスが介護保険から外され、地域や NPO に委ねられようとしています。

しかし、地域に住む人たち全体の高齢化が進み、支援する人材確保も容易なことではありません。

そこで、支援する人材の確保と、支援する組織づくりをどのような仕組みで行うのか、今後に向けた取り組みについて伺います。

１　要支援１・２の人への福祉サービスの今後の課題と、取り組みについて
２　居場所づくりの三島市内における推移と見通しについて
３　居場所づくりコーディネーターや運営者等の人材育成について
４　居場所づくりの継続的な活動を支援する取り組みについて